

新機能

*Sun™ ONE Application Server*

**Version 7, Enterprise Edition**

817-5544-10

2003 年 9 月

Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054 U.S.A.

Copyright © 2003 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

このソフトウェアは SUN MICROSYSTEMS, INC. の機密情報と企業秘密を含んでいます。SUN MICROSYSTEMS, INC. の書面による許諾を受けることなく、このソフトウェアを使用、開示、複製することは禁じられています。U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements. Use is subject to license terms.

この配布には、第三者が開発したソフトウェアが含まれている可能性があります。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Java、Sun™ ONE、Java Coffee Cup のロゴマークおよび Sun™ ONE のロゴマークは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

UNIX は、X/Open Company, Ltd が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト(輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む)に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

# Sun ONE Application Server 7, Enterprise Edition の新機能

Sun™ Open Net Environment (ONE) Application Server 7 ファミリは、開発と操作性の両者を強化した、広範で多様な新機能を提供します。

Sun ONE Application Server 7 の新機能を、次に示します。「エンタープライズ機能」の項目では、Sun ONE Application Server 7, Enterprise Edition の新機能に注目し、説明しています。

- [エンタープライズ機能](#)
- [開発機能](#)
- [運用機能](#)

## エンタープライズ機能

Sun ONE Application Server 7, Enterprise Edition には、次のエンタープライズ機能が含まれています。これらは、Platform Edition と Standard Edition からは、利用できない機能です。

- Sun ONE Application Server インスタンスのクラスタリング
- Enterprise Edition に組み込まれているロードバランサプラグインまたはサードパーティ製のロードバランサを使用した着信 HTTP 要求のロードバランス
- 高可用性データベースサーバー (HADB) を使用した HTTP セッションの持続性
- HTTP セッション内での EJB 参照のフェイルオーバー

# 開発機能

Sun ONE Application Server 7 は、次の開発機能を含んでいます。

- Java™ 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE™ プラットフォーム) バージョン 1.3 との互換性
  - JavaServer™ Pages (JSP™) 1.2 および Servlet 2.3 のサポート
  - メッセージ駆動型 Bean のサポートを含む、Enterprise JavaBeans™ (EJB™) 2.0 テクノロジーのサポート
- Java™ 2 Platform, Standard Edition (J2SE™ プラットフォーム) 1.4
- 統合された Java Web サービス
- 統合開発環境 Sun ONE Studio インテグレーションのアップデートによるシームレスなデバッグおよび配備
- 動的な (ホット) 配備と再読み込み
- コンテナ管理による持続性 (CMP) サポートの大幅な拡張
- 設定しやすい XML ベースのサーバー設定
- ライフサイクルリスナークラス (高度な起動および停止クラス)
- 多数のサンプルアプリケーション
- Apache Ant のビルド機能の統合
- 持続性データの保存にローカルファイルシステムを使用した HTTP セッションの持続性テストのサポート

# 運用機能

Sun ONE Application Server 7 ディストリビューションには、次の運用機能が含まれています。

- 統合された高パフォーマンスの HTTP サーバー
- JMS プロバイダとして統合された検証済み Sun ONE Message Queue, Platform Edition
- Web アプリケーション用の仮想 HTTP サーバーサポート
- インストールイメージごとに複数の管理ドメインを設定する機能 (単一のインストールイメージから複数のアプリケーションサーバーの設定が可能)
- Web ベースのリモート管理インタフェース
- 全機能を対象とした、リモート処理が可能なコマンド行インタフェースによるリモート監視機能
- クラスタの自動セットアップやクラスタ管理のためのコマンド群
- Web サーバーから Sun ONE Application Server へ要求をリダイレクトするプラグイン
- JAAS (Java Authentication and Authorization Service) に基づいたプラグイン可能な認証
- 複数のログレベルを設定できる改良されたログ機能
- Solaris™ オペレーティング環境の SVR4 パッケージ形式によるプラットフォーム固有のパッケージ
- ユーザー認証と一部のアプリケーション構成のための、Sun ONE Directory Server の使用権
- Sun ONE Application Server のホストとは異なるマシンでの使用を含めた、ディストリビューションに含まれている Sun ONE Web Server の使用権
- URI をベースとした要求を別のアプリケーションサーバーにリダイレクトすることによる負荷分散
- SNMP 監視機能によるリモート監視

特定のバージョンや特定のプラットフォームに関する詳細は、『Sun ONE Application Server のプラットフォーム』を参照してください。

使用権限のある機能は、製品のインストール時に受諾したライセンスに従い、管理されています。使用が必要な機能を特定するためには、『補足条項』を参照してください。

